

歴史文化基本構想の概要

津和野町の文化財を将来にわたって的確に保存・活用していくため、住民の参加と協力による「体制」作りと「調査・活動」を基本方針とし、「城下町の史跡と文化」をはじめとした8つの関連文化財群と、「天領と川が育んだ町並み景観」など10箇所の歴史文化保存活用区域などに設定された保存・活用の方策を実施していく。

観光拠点形成の方向性

- ・ 町内文化財等の地域資源の魅力向上
- ・ 旧城下町と旧天領エリアをつなぐ交通体系の充実
- ・ 回遊性のあるまちづくり

観光に関する課題

- ・ 誘導、導線の整備
- ・ 施設の案内機能および駐車場の整備
- ・ 周遊にかかるイベントの連携
- ・ 旧天領エリアの魅力発信

滞在コンテンツの作成

観光客が少ない旧天領2地区に観光客を呼び込むことを目的に、地元郷土史研究グループや専門家らと一緒に文化財（観光素材）の洗い出しを行い、WEB等の素材として即活用できる観光素材調査台帳を整理した。

KPI 旧天領2地区を拠点とした体験ツアーの実施：
0回(H28)→12回(H31)

津和野城跡VRアプリ導入のための素材制作

観光資源である津和野城跡の観光客の増加を目的として、津和野城跡のVRアプリを導入するための素材を制作した。まずは、城の天守について絵図や歴史資料をもとに学識経験者の指導に基づきVR技術による素材を制作した。

KPI 津和野町観光リフトの利用者数：
21,201人(H28)→40,000人(H31)

旧天領地区の観光ガイド養成

旧天領地区を観光周遊するためのガイドの人材育成を目的として、当該地区の歴史について学習会を実施した。学識経験者を講師とし、対象は協議会メンバーを基本としながらも広く公募を行い多くの参加者が知識を深めた。

KPI 文化観光ガイドの登録者数：2人(H28)→12人(H31)

旧天領体験イベントの実施と観光実態の調査

旧城下町と天領2地区とを繋ぐ魅力的なプランを提供して観光客を増やすため、連携したまち歩きイベントを開催し旅行商品開発の検討を行った。あわせて観光客を対象とし、観光志向や交通手段の実態調査を実施した。

KPI 体験プラン、ツアーの数：0回(H28)→12回(H31)

① 魅力ある観光体験プランの開発

観光素材の調査成果を基に開発した観光体験プランで実施したイベントでは、町外から多くの参加者があり、魅力的なプランの提供が誘客に繋がった。

② 観光振興の協力者の増加

観光素材調査や観光体験イベントを通じて、本事業の取組みについて地域住民への周知を図ることができ、観光振興への協力者を増やすことができた。

津和野町【島根県】 歴史文化基本構想を活用した 観光拠点づくり事業



■協議会メンバー…津和野町／津和野町観光協会／旧堀氏庭園を守り活かす会／日原郷土史研究会／日原賑わい創出推進協議会

■構想策定年度…平成二十三年三月
■補助事業期間…平成二十九年九月一日～平成三十三年三月三十一日

情報
発信



情報
発信



人材
育成



普及
啓発

